09—13 NOVEMBER 2026

WEEK 46

NAGANI

WEEKLY REVIEW

外貨の保有期間、国境協議、株主総会の条件を読み分ける。



ミャンマー週刊レビュー

14 NOV 2026 · 日本語版

01 / WEEK 46
外貨保有は30日から45日へ
→

02 / WEEK 46
協議から実施までの差を確認
→

03 / WEEK 46
株価上昇と権利条件を分ける
→

09 NOV 00:00 — 13 NOV 23:59 MMT

日本語 / English / မြန်မာ

概念画像／実際の現場写真ではありません。

01 WEEKLY REVIEW
09–13 NOV 2026 · WEEK 46

目次

今週の結論と判断の条件 3
今週の変更点と前週との差 4
輸出外貨：保有を45日へ 5
深掘り：追加15日と資金繰り 6
為替：基準と現地参考値を分ける 7
送金：受取方法を揃えた観測 8
株式：指数と売買内訳 9
TMH：株主総会の参加条件 10
MAGDPL：株主総会の案内 11
タイ外相訪問：国境と水質 12
EECとの貿易協議 13
橋梁工事：開通とは分けて読む 14
ヤンゴン：海外安全セミナー 15
翌週の確認事項 16
カテゴリー索引と編集注記 17

02 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

今週の結論と判断の条件



AI生成の概念画像。実際の会議・現場写真ではありません。

01

外貨保有は30日から45日へ

CBMの11月9日発表は、輸出収入のうち自己使用可能部分の国内外貨口座での保有期間を延長するもの。国外からの回収期限や送金承認とは別に確認する。

→

02

協議から実施までの差を確認

タイとの国境・水質協議、EECとの貿易協議が進んだ。通関改善、受注、投資の実行額は確認できておらず、契約や運用通知を次の判断材料にする。

→

03

株価上昇と権利条件を分ける

MYANPIXは11月6日の872.77から13日の911.22へ4.41%上昇。個別銘柄の換金性や配当支払いの保証にはならない。TMHとMAGDPLの総会は参加資格・申込・質問期限を分ける。

→

03 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

今週の変更点と前週との差

前週号では輸入代金の30%・40%・30%の段階別条件を確認した。今週の45日保有は輸出収入側の別措置であり、両者を同じ承認と扱わない。日次5号の非市場記事は延べ10掲載・10固有案件。うち週内公表7案件、週外公表の継続参考3案件。翻訳・目次・再掲参照は加算していない。

NOV 2026	公表・確認した段階
09	CBM 30 → 45 days / TMH AGM
10	Dottawady bridge inspection report
11	MAGDPL AGM / Japan safety seminar
12	Thailand talks / EEC trade talks
13	YSX 911.22 / CBM JPY100 1,313.16; 2,288.64

04 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

輸出外貨：保有を45日へ

CBMの11月9日付公式発表は、輸出代金のうち自己使用できる部分を外貨口座に保有できる期間を30日から45日へ延長したと説明している。輸入許可の申請や海外支払いに必要な時間を確保することが目的として示されている。

確認する区分	今回確認できた範囲
口座内の保有	自己使用可能部分：30日 → 45日
国内への還流	法定の指定期間とは別に管理
個別適用	起算日・既存残高の扱いは銀行へ確認

NOTICE ↗

分析：資金繰りへの意味

輸出と輸入を行う企業には、支払い準備の時間が増える可能性がある。ただし、全輸出代金の自由保有や自動的な送金承認を意味しない。保有期間だけで支払日を約束しない。

次に銀行へ確認

対象残高、起算日、移行措置、両替義務、支払書類を確認する。公式発表は確認済みだが、個別銀行の実装・案件への適用は照会していない。

05 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

深掘り：追加15日と資金繰り

仮定計算：自己使用可能な外貨100,000 USDについて、追加15日をすべて利用でき、年率12%・365日基準の借入を同額回避できた場合、利息相当は100,000×12%×15÷365＝493.15 USD。実際の節約額ではなく、適用開始日・対象残高・銀行承認・手数料で結果は変わる。保有日数の50%増加を利益50%増加と解釈しない。

USD	自己使用可能残高	年率（仮定）	追加日数
493.15	100,000	12%	15

次に銀行へ確認すること

起算日、既存残高への適用、必要書類、支払先・使途の承認、休日を含む日数の数え方を確認する。製造業は原料発注、小売は補充、農産物輸出は回収予定と照合する。延長だけで輸入許可や信用条件が変わるとは限らない。

CBM · 09 NOV 2026

06 WEEKLY REVIEW
09–13 NOV 2026 · WEEK 46

為替：基準と現地参考値を分ける

CBMは11月13日。USD1は参照2,100／市場取引3,660 MMK、JPY100は1,313.16／2,288.64 MMK。JPY1換算は13.1316／22.8864。前週末JPY100の1,327.69／2,313.97からそれぞれ約1.09%低下。異なるレート系列を交換可能な価格や裁定利益として比べない。

CBM ↗

MRP / NOV	USD Buy	USD Sell	JPY Buy	JPY Sell
10	4,670	4,770	29.53	30.25
12	4,775	4,875	29.87	30.64
13	4,800	4,900	30.11	30.91

Market Rate Plus

10・12日は日次保存観測、13日は14日に更新日表示を確認した前日参考値。単位は各通貨1単位あたりMMK。Buyは業者が外貨を買う側。地域・数量・手数料・実行条件は未確認で店頭確約価格ではない。10日→13日のUSD Sellは130 MMK、2.73%上昇。観測区間の差であり週初週末リターンではない。

MRP ↗

07 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

送金：受取方法を揃えた観測

NOV	現金受取	銀行受取	ウォレット受取
09	25.0993	25.1447	25.1927
10	25.1200	25.1400	25.2000
11	25.0076	25.0529	25.1007
12	24.8917	24.9368	24.9844
13	24.8560	24.9060	24.9484

Kyodaiの日次保存観測。単位MMK/JPY1、現金・銀行・ウォレットを分離。9日から13日の差は−0.2433／−0.2387／−0.2443。終値比較ではない。表示時刻の時間帯・適用金額条件は未確認。手数料控除後の実受取額や同額送金の確約値ではない。14日の新しい表示は対象週の値へ混入させていない。

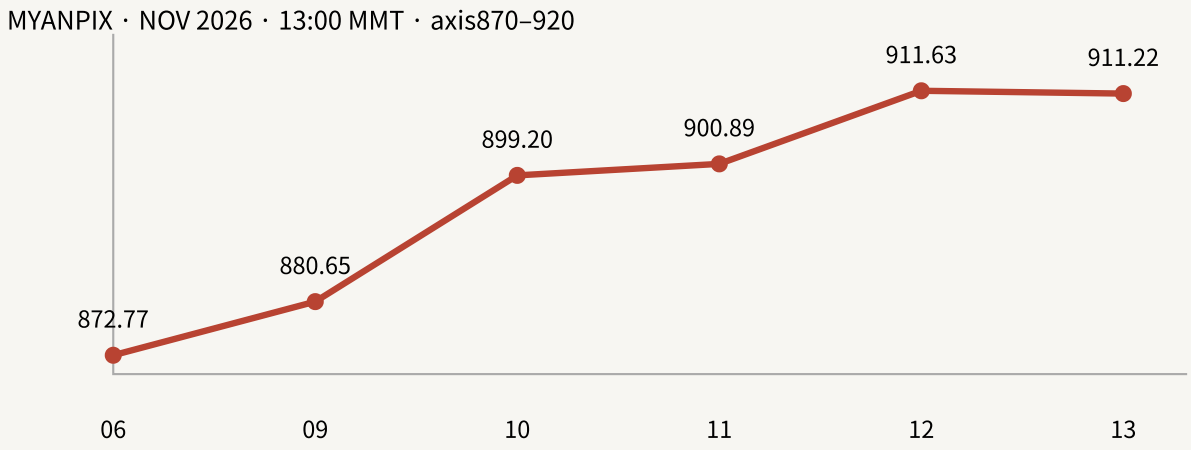
KY ↗

08 WEEKLY REVIEW
09–13 NOV 2026 · WEEK 46

株式：指数と売買内訳

13 NOV · MYANPIX
911.22

06 NOV → 13 NOV
+4.41%



13 NOV 13:00	株数	MMK
Main Board	12,943	90,107,600
PLB	22,365	124,866,900
合計	35,308	214,974,500

比較条件と分析

前週末比38.45上昇、前日比0.41低下。PLBは連続取引2,365株にブロック20,000株を含む。合計売買代金の増加を一般投資家の連続売買だけの増加と解釈しない。図は取引観測順で休日の空白を圧縮、縦軸は870〜920でゼロ始まりではない。

YSX ↗

09 WEEKLY REVIEW
09–13 NOV 2026 · WEEK 46

TMH：株主総会の参加条件

TMH Telecomは11月9日14:50、YSXで第9回定時株主総会の案内を公表した。オンライン開催と事前登録の予定が示された。対象株主は、案内記載の10月9日付YSX株主確認名簿に基づく。

項目	案内の記載
開催	12 DEC 2026 · 10:00–12:00 · Zoom
登録期間	01–10 DEC 2026
委任状・質問期限	10 DEC 2026 · 16:00

時刻のタイムゾーンは確認した案内1・3・4ページに明記なし。主催者へ確認が必要。登録後、Zoomと電子投票のリンクがメールまたは電話番号宛てに届くと案内されている。委任状は指定様式を使用し、本社へ郵送またはメールで提出する。

TMH ↗

株主が次に確認すること

登録サイトと必要書類、委任状の到着条件を原案内で確認する。開催案内は業績改善・配当決定・投資収益の証拠ではない。本号ではそれらを推定しない。

10 WEEKLY REVIEW 09–13 NOV 2026 · WEEK 46

MAGDPL：株主総会の案内

YSXが11月11日に掲載したMAGDPL（Myanma Agricultural & General Development Public Co., Ltd.）の第13回株主総会案内。12月9日にオンラインで開く予定。招集案内であり、総会開催済み・配当支払済みを意味しない。

項目	案内の記載
総会	2026-12-09 · 14:00 · Zoom
質問・提案の締切	2026-11-28 · 17:00
1株あたり配当	50 MMK
対象取引／株主記録日	2026-10-28 / 2026-11-02

時刻は現地MMTとして記載。案内は現地開催時刻の表記で、明示的な時間帯ラベルはない。支払日は別途告知予定。

AGM ↗

分析：受取予定と権利を分ける

基準日後の購入に配当権利が付くとは判断しない。配当額の案内だけで入金日を資金計画へ確定計上しない。

株主が次に確認すること

原案内のオンライン登録手順、株主情報、接続案内と証券会社の支払通知を確認。個別の登録状況や受取資格は照会していない。

11 WEEKLY REVIEW
09–13 NOV 2026 · WEEK 46

タイ外相訪問：国境と水質

タイ外務省の12日付発表によると、シハサック副首相兼外相が同日ミャンマーを訪問。国境安全、麻薬・オンライン詐欺対策、越境河川の汚染を協議した。

発表で確認できた段階

水質管理の合同作業部会を早期開催し、高官が共同現地訪問する方針。貿易円滑化・労働管理・エネルギー安全保障も協議した。タイ側は民間人への影響軽減と人道支援の拡大を促した。

THAI ↗

分析：影響する事業

国境物流、雇用、水利用事業は対話の進展を追う価値がある。ただし発表だけで通関や就労許可の変更、水質改善を見込まない。

次に確認すること

部会の日程、担当機関の通知、国境ごとの運用を確認。河川の測定結果や現地の安全状況は今回独自に検証していない。

12 WEEKLY REVIEW
09–13 NOV 2026 · WEEK 46

EECとの貿易協議

国営MNAの12日付報道（MDN掲載）によると、商業相トゥン・オン氏は11日夕、ユーラシア経済委員会（EEC）のダニヤル・イマナリエフ氏らと会談した。

協議分野	報道された内容
輸出先	ロシア、ベラルーシ、キルギス、カザフスタン、アルメニア
品目	ポーサン米、豆類、ごま、CMP受託加工品、水産品
投資等	ダウェイ経済特区への投資誘致、徴税のデジタル化

EEC ↗

分析：商談へ進む条件

輸出・加工業者には市場探索の材料となる。協議は受注や関税優遇の確定ではない。相手国ごとの輸入基準、決済経路、輸送費を別に確認する。

留保と次の確認

署名済み契約、投資額、実施日程は本文から確認できない。EEC側の発表や正式条件を照合するまで、投資実行や売上として扱わない。

13 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

橋梁工事：開通とは分けて読む

MITVの11月10日付報道によると、建設省副大臣は9日、ヤンゴン–マンダレー高速道路のマイル358/1–3にある新ドッタワディ橋の工事を視察した。橋長は1,000フィートと報じられている。

MITV ↗

確認できたこと

確認できたのは工事視察の報道。開通・全面通行再開の発表ではない。完成予定日、車種・重量制限、実際の所要時間はこの記事から確認できない。現地取材は未実施。

物流事業者の確認（分析）

配送を変更する前に、当局の現行通行案内と運送会社の運行条件を確認する。積載量、迂回路、納品時間への影響を便ごとに確認し、工事進捗から運賃低下や所要時間短縮を推定しない。

14 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

ヤンゴン：海外安全セミナー

日本大使館の11月11日付案内。日本語・無料の海外安全対策セミナーを11月28日にヤンゴン日本人学校で開催予定。安全対策と実践的な危機管理訓練（HEAT）を扱う。

予定・条件	ミャンマー時間 MMT
申込締切	2026-11-20 · 23:59
開催／開場	2026-11-28 · 14:00–17:00 / 13:00
会場	ヤンゴン日本人学校 アセンブリーホール
言語・料金	日本語・無料

SEMINAR ↗

APPLY ↗

参加前に確認

案内は在留邦人向け。申込サイトで対象・受付状況・最新の開催条件を確認する。申込や個別の参加承認の取得は行っていない。

実務への使い方（分析）

参加予定を立てる際は、社内の緊急連絡先や家族との連絡手段も点検する。研修の開催は、地域の安全が保証されたことを意味しない。

15 WEEKLY REVIEW 09–13 NOV 2026 · WEEK 46

翌週の確認事項

2026	期限・確認事項
20 NOV 23:59 MMT	海外安全セミナー申込
28 NOV 17:00*	MAGDPL 質問・提案
01–10 DEC	TMH 事前登録
10 DEC 16:00*	TMH 委任状・質問
09 DEC 14:00*	MAGDPL 株主総会
12 DEC 10:00–12:00*	TMH 株主総会

実務上の留保

*企業開示の時刻は原文の時間帯表示が明確でなく、主催者へ確認が必要。11月20日は安全セミナーの申込締切で、開催は28日。前週の観光広告入札は19日正午提出・20日14時開札として追跡していたが、今回の原公示再取得は未完了。変更・延長や参加可能性を確認できていないため、申込前に発注者へ照会する。

前週から残る確認

YCDC廃棄物案件の12月13日／31日の期限不一致は原公示による解消を確認していない。MCBの11月10日配当開始予定は、個々の口座への着金確認とは別。Maerskの11月23日PSS予定は週外の11月4日公表であり、今週の新規公表には数えない。

Tourism tender · YCDC · MCB · Maersk

16 WEEKLY REVIEW

09–13 NOV 2026 · WEEK 46

カテゴリー索引と編集注記

01 政治・国際関係・安全 ↗ p.12
02 経済・金融・市場 ↗ p.9
03 法律・税務・規制 ↗ p.5
04 不動産・建設・都市開発 ↗ –
05 人材・雇用・教育 ↗ –
06 AI・IT・通信 ↗ –
07 エネルギー・資源・公益インフラ ↗ –
08 製造業・自動車・小売 ↗ –
09 貿易・物流・交通 ↗ p.14
10 農業・水産・食品 ↗ –
11 医療・保健 ↗ –
12 観光・ホテル・飲食 ↗ –

「—」は独立記事なし。新着がないという意味ではありません。

暮らし・安全 | 日本との関係 | 企業の動き | 気象・災害 — | イベント・募集・締切

対象期間は11月9日00:00〜13日23:59 MMT。独自取材・現場確認は行っていない。国営報道は当局側の説明、事業者発表は当該主体の説明として扱う。取得できない情報を新着なしとしない。JCCM会員資料・NNA有料全文は未確認。金・燃料・農産物・国債は同条件で検証できる週次比較値が揃わず、推定値を掲載しない。